# 第６６回　東京都会計基準委員会　議事要旨

【開催日時等】

○　日　　時　　令和８年８月１９日（水）　１５時～１７時

○　場　　所　　東京都庁第一本庁舎　南塔３６階　会議室Ｂ

○　出席委員　　公認会計士　　中川美雪
（敬称略）　　公認会計士　　蕗谷竹生
公認会計士　　伊藤陽子

【議題】

・　開　会
（１）　委員長及び副委員長の選任について
（２）　令和７年度財務諸表（案）について
（３）　東京都の財務諸表（概要版）について
（４）　東京都の新たな取組について

【配付資料】

資料１　東京都会計基準委員会設置要綱
資料２　令和７年度財務諸表（案）について
資料３　東京都の財務諸表（概要版）
資料４　東京都の新たな取組について

【議事内容】

開会にあたって、資料等の取扱いについて、検討段階の情報を含む資料４及び内容については、附属機関等の運営に係る基本事項の整理に従い、委員のみ配付とし、非公表とすることを委員全員より異議がないことを確認したため、非公表とすることとした。

委員会では、議題に沿って以下のような内容の協議や意見交換が行われた。

## （１）委員長及び副委員長の選任について

事務局より、本委員会は委員改選後の初めての委員会となるため、東京都会計基準委員会設置要綱第２条第４項に基づき、委員長は委員の互選により選任し、副委員長は委員のうちから委員長が指名する旨を説明した。

（委員による委員長の互選）

・委員の互選により中川委員を委員長に選任し、中川委員長より蕗谷委員を副委員長に指名した。

## （２）令和７年度財務諸表（案）について

事務局より、資料２を用いて、令和７年度財務諸表の概要、令和６年度からの増減要因の分析及び官庁会計と財務諸表の決算値の正確性を照合等により検証した結果を報告した。

（増減要因の分析）

・貸借対照表について、道路関連施設整備等に係るインフラ資産の増加や政策連携団体への出捐金の増加等により、資産総額が増加した一方、都債の減少等により、負債総額が減少し、正味財産は増加したことを説明した。

・行政コスト計算書について、収入面では、都税収入の増加があった一方、費用面では、税連動経費や補助費等が増加したことなどから、当期収支差額は前年度より減少したことを説明した。

◎退職給与引当金繰入額の大幅な減少理由を教えてほしい。（委員）

→職員の定年の段階的な引上げが２年ごとに実施されており、当年度は定年年齢の引上げが行われた年度であったことが理由となる。（事務局）

◎出捐金の会計処理に関して教えてほしい。（委員）

→出捐時に資産計上し、年度末時点で事業にて費消された場合、費用処理を行い、事業が終了した時点で出捐先団体から都に返還される。（事務局）

→他の団体では、資産計上するか、費用処理するかのどちらか一方の処理を行っており、東京都の会計処理は他の団体ではあまり見られないようだが、一定の合理性はあるものと理解した。（委員）

（官庁会計の決算値との差異把握）

・行政財産や普通財産、債権等について、官庁会計との制度の違いにより発生する差異等を説明した。

◎前年度決算では大きく差額が生じていたが、今年度決算では差額は減少したか。（委員）

→今年度決算では、庁内での説明会等を通じた注意喚起を行うなどの改善に取り組んだ結果、差額は減少している。（事務局）

（３）東京都の財務諸表（概要版）について

事務局より、資料３を用いて、今年度から、より分かり易く、親しみやすい構成に変更したことや財務諸表から分かる指標等を説明した。

（構成の変更）

・キャラクターの追加やユニバーサルデザインに配慮した内容に変更した。本文の構成もページの入れ替えや表の形式の変更等、大幅に見直しを行い、より分かり易い構成に変更した。

（財務諸表から分かる指標等）

・財務活動を除くキャッシュの安定性を示す「行政活動キャッシュ・フロー収支差額」について、令和７年度は、行政支出の増加があった一方で、税収等の収入や財産収入が増加したことから、五期連続でプラスの値を維持していることを説明した。

・耐用年数に対して、資産の取得からどの程度経過しているかを示す「有形固定資産減価償却率」について、残価率に係る会計方針を変更した平成３０年度を除き、過去１０年間を通じて、緩やかな上昇傾向が続いていることを説明した。

◎当期収支差額が減少しているため、今後の傾向を注視した方が良い。収支差額は、本来マイナスにならない程度が理想かもしれないが、官公庁の特性として、必ずしも収支が

大幅にプラスであれば良いとも言えない。（委員）

◎都の資産の老朽化が進んでいるということは都民への重要なメッセージであり、載せるのは良いものと思われる。今後は指標にインフラ資産を加えることも検討してはどうか。（委員）

→取替法を適用している資産があるため、インフラ資産は除外していたが、インフラ資産の老朽化の情報は有意義な情報であるため、検討したい。（事務局）

◎レイアウト変更により、全体的に見やすくなっており、とても良い。民間のアニュアルレポートのように事業の内容と財務情報を合わせて説明すると、より良い情報公開ができるのではないか。また、財務情報以外の１年間の取組をまとめた資料はあるか。（委員）

→事業の内容と財務情報を併せたものは財務局の年次財務報告書、事業の取組は財務局で事業の事業評価という形で情報発信を行っている。（事務局）

→情報は集約しておくとより良いものと思われる。（委員）

（４）東京都の新たな取組について

事務局より、資料４を用いて、東京都の新たな取組について説明した。
※本議題に係る資料等については、検討段階の情報を含むため非公表とする。

以 上